

第 1 回新城市若者議会

令和 7 年 5 月 7 日（水）午後 7 時から午後 8 時まで
新城市議会 議場

開 会 午後7時00分

○牧野市民自治推進課長

市民自治推進課長の牧野でございます。
議長が決まりますまで進行を務めさせていただきます。

ただいまから、令和7年度第1回新城市
若者議会を開会いたします。

1. 辞令交付

○牧野市民自治推進課長

初めに、辞令交付を行います。委員の皆様
お一人お一人に辞令を交付させていただく
のが本意ではございますが、代表の委員に交
付をさせていただきたいと存じます。ご了承
をお願いします。

それでは、代表して、梅田倫之助委員に
交付させていただきます。梅田倫之助委員、
正面にお進みください。

○下江洋行市長

梅田倫之助様

新城市若者議会委員を委嘱する。

任期は令和7年4月1日から令和8年3
月31日までとする。

令和7年4月1日

新城市長 下江洋行

よろしくお願いします。

○牧野市民自治推進課長

ありがとうございました。なお、そのほ
かの委員の皆様におかれましては、それぞれ
机の上に辞令をお配りしておりますので、ご
確認をお願いします。

2. 市長あいさつ

○牧野市民自治推進課長

次に、新城市長下江洋行からごあいさつ
を申し上げます。

○下江洋行市長

皆さんこんばんは。

本日、第11期若者議会の開催を迎える
ことができました。若者議会に応募してくだ

さいました皆さんに、心から感謝いたします。
ありがとうございます。

先ほど、梅田委員に代表して委嘱辞令を
交付させていただき、他の委員の皆さんにも
お手元に辞令があると思いますが、これをも
って皆さんは若者議会の一員となります。

本年、新城市は市制施行20周年という
大きな節目を迎えました。同時に、若者の声
をまちづくりに活かそうという取り組みも、
スタートから10年の歩みを重ねてまいりま
した。昨年度は、第2次新城市若者総合政策
において4つの指針を示していただきました。
そして今年度には、若者政策10周年記念事
業が11月に行われます。若者政策10年の
積み重ねを経て、私たちはこれまで以上に、
若い皆さんの視点を市政に取り入れてまいり
たいと考えております。社会の変化は大変早
く、今のまちの姿だけを見ていては、これか
らの課題を捉えることはできません。今から
予測できる15年後、20年後、市を取り巻
くその時の環境を見据えて、今やるべきこと
を見極めなければなりません。だからこそ、
新しい感性と柔軟な発想を持つ皆さんの力が
必要です。

この若者議会は、単なる意見交換の場で
はありません。ここから生まれる提案が、実
際に新城市の未来を形づくっていく力になり
ます。今日ここに集まった皆さん一人ひとり
が、まちの「今」と「これから」をつなぐ架
け橋となってくださることを、期待いたしま
す。

皆さんにこれから1年間一生懸命練り上
げていただくアイデアを11月の答申でお聞
きできることを楽しみにしております。皆さ
んの1年間の活躍を祈念いたしまして、私か
らの挨拶とさせていただきます。どうぞよろ
しくお願いします。

3. 若者議会議長選出、副議長指名

○牧野市民自治推進課長

次に、若者議会の議長の選出を行います。
新城市若者議会条例第5条第2項では、議長は委員の互選により定めることとなっております。

前もって議長立候補の申し出を受け付けさせていただきました結果、古瀬有菜委員から申し出がございました。古瀬有菜委員を議長に選出することについて、異議がなければ拍手をもってご賛同をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございました。

異議なしと認めます。

また、新城市若者議会条例第5条第2項におきまして、副議長は議長が指名することとなっておりますので、あいさつに続きまして、副議長の指名をお願いしたいと思います。

それでは、古瀬有菜議長、前の方へお進みください。

○古瀬有菜議長

第11期若者議会の議長を務めさせていただきます、東郷地区に住んでいます古瀬有菜です。若者議会に、今年も参加することができることに大変うれしく思っています。

昨年は、若者議会10期目を迎え、10周年記念事業や第2次若者総合政策について答申され、この機会を活用し、若者議会や新城市について多くの人に知ってもらえることができる機会となればと思っています。

私が高校を卒業してから感じることは、就職や進学のため、新城市外で生活する人も多くいるということです。そういった人たちに新城市に戻っていききたい、携わっていききたいと思ってもらえるような新城市となるようにしていきたいと考えています。

また、今期は若者議会の中でだけでなく、他の活動にも興味を持ち、積極的に関わりを持っていくことができるようにしたいと考えています。

第11期若者議会に関わる皆さんと、新城市がより良くなるよう、ともに協力し合い、

自分自身もより成長することができる1年となるようにしていきたいです。

1年間よろしくお願いします。

それでは、副議長の選任をさせていただきますと思います。副議長は、菅沼堅太委員にお願いします。

○牧野市民自治推進課長

ありがとうございました。

それでは、菅沼堅太副議長、一言ごあいさつをお願いします。

○菅沼堅太副議長

副議長として、議長を精一杯サポートしていきます。

○牧野市民自治推進課長

ありがとうございました。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

4. 諮問

○牧野市民自治推進課長

続きまして、若者議会の体制も整いましたので、市長から若者議会への諮問を行います。

それでは、古瀬議長、前へよろしく願いいたします。

○下江洋行市長

新城市若者議会議長様

若者総合政策の実施に関する事項について（諮問）

このことについて、新城市若者議会条例第2条に基づき、下記の事項について、若者議会の意見を求めます。

1 諮問事項 若者総合政策の実施に関する事項について

2 答申期限 令和7年11月28日

新城市長 下江洋行

よろしくお願いします。

○牧野市民自治推進課長

ありがとうございました。

古瀬議長は議長席へお願いいたします。

それでは、これから1年間、この諮問書

に基づきまして、しっかりお取り組みいただきますよう、よろしくお願いいたします。

これより新城市若者議会条例第6条第1項の規定により、古瀬議長に進行をお願いいたします。では、古瀬議長、よろしくお願いいたします。

5. 所信表明

○古瀬有菜議長

それでは、所信表明を行います。

若者議会委員及び若者議会市外委員お一人ずつ所信表明をお願いしたいと思います。

初めに、梅田倫之助委員、お願いします。

○梅田倫之助委員

千郷地区に住んでいる梅田倫之助、15歳です。

今回、若者議会に参加できることに感謝申し上げます。

私が若者議会を知ったきっかけは、中学生のときです。兄が一昨年、昨年と若者議会に参加し、新城市のために活動する様子を間近で見してきました。まちなみ情報センターのリノベーションなど、私たちが利用する施設が使いやすく変わるために議論を重ねていく様子や、中学生のときに参加したプレ若者議会で新城市のために何ができるのかを考えたことがきっかけです。

また、中学生の校外学習では、新城市のまだ知られていない場所の魅力の発見するために、各クラスで作手や四谷の千枚田などを訪ねました。新城市の魅力を調べ、現地に足を運び、再発見をしたことで、改めて新城市の魅力とは何かを考えました。新城市には魅力的な場所がたくさんあると思います。これらのことを多くの人に伝えられるよう、1年間頑張っていきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、野澤滯央委員、お願いします。

○野澤滯央委員

私は千郷地区に住む野澤滯央です。17歳です。

若者議会に参加した理由は、これからも住もうと思っている新城がもっと楽しく美しい場所になってほしいと思ったからです。新しく来る人や、今いる人に新城の魅力をたくさん知ってもらって、皆さんによい生活をしてもらいたいなと思いました。

私が若者議会でやりたいことは、子どもたちの楽しい場所を作り上げることです。なぜそう思ったかというと、自分の弟が家にいてもやることなく、「暇だ、暇だ。」だったり、「ゲームができん。」、それから「外で遊びたいけど遊べん。」ということを知りました。僕の弟以外にも、小学生の子どもたちが遊びたいと思っている方が多分いると思います。そんな小学生を対象としたイベントだったり、遊べる場所を提供することによって、子ども、小学生の皆さんが楽しんで、よりよい生活ができるのではないかと思います。イベントはボランティア等で行ったことがあるたけのこ祭りなどを参考にして作っていったらなと思っています。楽しめる場所については、まちなみ情報センターなどを生かして計画を練っていったらなと思っています。

これから若者議会の委員の皆様をはじめ、市の職員の皆様と一緒に、よりよい場所をつくれるように頑張っていきたいと思います。

以上です。ご清聴いただきありがとうございます。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、杉原佑希乃委員、お願いします。

○杉原佑希乃委員

私は新城市に住む杉原佑希乃です。年齢は17歳です。

私が若者議会を知ったきっかけは、小学生のときに、若者議会の方が若者議会についての授業を行ってくださったことです。大人

の人だけではなくて、若い人でも新城のことを変えることができるのだと知り、私も新城市をより良くするために、いつか参加したいと思っていました。

私が若者議会に入ってやりたいことは、スポーツや趣味を通して、気軽にいろんな世代の人が交流する機会を増やすことです。新城市では、すでに趣味活サイトで趣味を通して交流できる機会をつくることができるようになっています。さらに、それを進めるために、中学校の部活動地域移行化とつなげたいと思っています。地元のクラブチームと連携するだけでなく、地元の高校生や大学生など、気軽に教え合うことができるようにしたいと考えています。この部活動地域移行化を通して、いろんな世代が気軽に交流できる機会を増やしたいです。

第11期メンバーとして、1年間頑張ります。

よろしくお願いします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、浅井香音委員、お願いします。

○浅井香音委員

私は鳳来地区に住む浅井香音です。年齢は15歳です。

私が若者議会に参加した理由は、中学生の頃に制服検討委員会というものに参加していたからです。これは、新城市内の中学生の制服のデザインを考えるという会で、色や生地、形、着ていて中学校生活が華やかになってほしいという願いを込めて、活動に参加していました。色を決めていく中で課題となったのは、新城市の特色を活かすには、というものでした。新城市には、桃色を象徴としている桜淵公園。緑色を象徴としている山々。これらの特色を生かし、スカートやスラックスにポイントとして入れました。4月になり、中学生が新しい制服を着て登校しているのを見たときに、この委員会に参加できたことを

誇りに思いました。

この経験を生かし、若者議会では、新城市のことをもっと理解し、市民の方との交流を図り、課題に取り組んでいきたいと思っています。課題に取り組む中で、失敗を恐れず、自分の意見をしっかりと持ち、委員の皆さんと新城市をより良くしていきたいと思っています。

1年間よろしくお願いいたします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、中野智文委員、お願いします。

○中野智文委員

私は、鳳来地区に住む中野智文です。年齢は16歳です。

私は、今年の若者議会での活動を通して行いたいことが2つあります。1つ目は、新城市の魅力を再発信して、少しでも多くの人々が新城に興味を持つ活動をすることです。2つ目は、子育て世代が公共の場で安心して子どもの世話ができるような場所を作ることです。私がこの2つのことをしたい理由は、新城市が抱えている問題があるからです。それは、少子高齢化問題です。新城市は少子高齢化の影響で、産業の高齢化が進んでいます。このことによって、新城市の産業は、次の担い手がいらないため、厳しい選択を迫られるものもあります。また、子どもの数が少ないため、子ども同士での交流が少なく、社会に出るまでにたくさんの人と関わってきた人と比べたら、人と接するときの対応力に違いが出てくるのではないかと考えたからです。そのため、新城市の魅力をインターネットなどを使って再発信し、移住者を少しでも増やし、子育て世代へのサポートをすることで、少子高齢化問題に少しでも貢献できれば良いなと考えています。

私は今回が初めての参加ですので、至らない点もあるかもしれません。ですが、精一杯頑張っていきたいと思っています。

1年間よろしくお願いします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、城所英汰委員、お願いします。

○城所英汰委員

私は新城地区に住む城所英汰です。年齢は17歳です。

私は昨年、第10期若者議会のまちづくり委員会に参加をさせてもらい、今の新城市では交通手段が少なく不便だということがわかり、どうしたらそれが改善されるかを考えたり、市内の人、市外の人と交流をし、いろいろなことを聞きました。そして、現地まで足を運び、自分はその大変さを知り、いろいろなことを学びました。

そして、今年、第11期若者議会での私の目標は、人と人との交流をもっと増やせることをしたいと思っています。昨年は交流する機会がありましたが、自分と誰かという他人同士の交流が少なく、そう自分には見えてしまったので、他人同士の交流ができるイベントや憩いの場をつくれる政策を考えたら良いと思います。

1年間頑張っていきたいので、よろしくお願いします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、平良陸委員、お願いします。

○平良陸委員

私は豊橋市に住む平良陸です。年齢は16歳です。

私が若者議会に参加したきっかけは、新城警察署のボランティア活動に参加し、この新城市でも様々な犯罪が起きている現状を知ったことです。それを受けて、少しでも犯罪の被害を減らし、誰もが安心して暮らせるまちづくりに貢献したいと思うようになりました。犯罪を防ぐためには、警察の働きだけでなく、地域の人々同士の繋がりや協力も必要だと感じています。市や町内で住民が集まる

機会を増やし、お互いの顔が見える関係を築くことで、防犯意識が高まり、より安心して暮らせる地域になると思います。また、地域の繋がりが強くなることで、住民同士の助け合いが自然と生まれ、犯罪の発生を未然に防ぐ力にもなると考えています。

私は、若者議会の活動を通じて、地域の方々の世代の方々が交流し、地域課題について意見を交わせる場を作っていきたいと考えています。

1年間よろしくお願いします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、長谷和奏委員、お願いします。

○長谷和奏委員

私は千郷地区出身の長谷和奏です。年齢は19歳です。

現在は大学が所在する秋田県で生活をしています。若者議会には高校2年生の時に若者向けのイベント情報や国際交流の情報を届ける情報雑誌ヤングほのかの政策立案に携わらせていただきました。

私が改めて若者議会に参加したいと考えたのは、大学で県外に出て、さまざまな人々の価値観に触れる中で、自分の軸の中に、新城で生まれ育った人とのつながりを大切にす文化や自然を楽しむ心が息づいていると気づいたからです。改めて、自分の原点に立ち戻り、今までお世話になった新城の人々やまちのために何かできないかと考えるようになりました。

県外出身の同級生との対話から、多くの自治体では若者議会のような取り組みが議論される一方で、若者の声が地域の利益に直結しにくいとされ、実現に至らない現実が多いことも知りました。それでも新城市は、若者の視点や意見が尊重され、まちづくりに直接的に活かされていると感じ、若者議会に深い意義を見出し、もう一度参加したいと決意させていただきました。今期の若者議会では、

大学での学びや県外で得た視点を生かし、世代や国籍を超えたコミュニケーションの機会を広げ、地域のつながりを深める活動に取り組みたいと考えています。

よろしくお願いします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、鏡堂心愛委員、お願いします。

○鏡堂心愛委員

私は新城地区に住む鏡堂心愛です。年齢は16歳です。

新城市では、キャッサバの栽培に力を入れていこうとしている話を聞きました。そのキャッサバを使い、映えるスイーツとして新城市の特産品を作りたいと考え、若者議会に参加しました。現在、新城市では外国籍の方が増えています。キャッサバを主食としているブラジルの方々にも喜んでもらえれば、異文化交流にも繋がると考えています。もっくる新城さんやJAの方々と一緒に、新しい市の特産品を開発し、新城市の魅力を増やしていきたいと思います。

そして、新城は過疎化が進み、農業を継ぐ人が少なくなっているため、農家と若者が一緒に触れ合える機会をつくり、育て、その様子をSNSやチラシを作り、多くの人に発信することで、交流する機会を増やしていきたいと考えています。

1年間よろしくお願いします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、河合夏鈴委員、お願いします。

○河合夏鈴委員

私は新城地区に住む河合夏鈴です。年齢は16歳です。

私は、高校生たちが中心となって、子どもたちに勉強を無償で教える機会をつくり、若者議会で実現させたいと思い志望しました。新城には、学習スペースとして図書館と新城まちなみ情報センターがあります。そのよう

な施設を活用して、定期的に学習会を開き、児童の勉強する機会を増やしたいと思っています。家庭の経済的事情により、学習塾に通えない児童が増えていると習いました。私たち高校生が中心となって、児童の抱える問題を解決したいと思っています。

1年間よろしくお願いします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、城所美菜委員、お願いします。

○城所美菜委員

私は千郷地区に住む城所美菜です。年齢は16歳です。

私がこの委員会に参加した理由は、新城市についてもっと知ってもらいたい、地域の温かさや自然など、魅力をより広めていきたいと思ったからです。私は、若者議会を知るまで、新城市の魅力についてあまり知りませんでした。しかし、友達や先生を通じて、若者議会を知り、新城市について自分の目と心で見ることで、生まれ育った土地を大切にしたい、これを広めていきたいと思いました。学校生活では、人と話すことが苦手で、自分の発言にいつも自信が持てませんでした。若者議会の委員となり、苦手意識を克服していきたいと考えています。

たくさん話し合い、意見交流を通して、より良い新城にするために、現状の課題について、1つ1つ解決していきたいです。

初めてのことで、迷惑をかけてしまうかもしれませんが、精一杯務めさせていただきます。1年間よろしくお願いします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、加藤泰輝委員、お願いします。

○加藤泰輝委員

私は新城市に住む15歳の加藤泰輝です。

私が若者議会に参加した理由は、将来社会に出たときに役立つ知識を学びたいと思ったからです。特に私は自分から意見を言った

り、人前で発表することなどが苦手です。しかし、どちらも社会に出たときに必要なことだと私は感じました。なので、私は若者議会での経験をもとに、苦手なことを少しでも減らしたいと思いました。

最初は慣れないことも多く、発言できないことも多いかもしれませんが、徐々に慣れていき、最終的には自分の意見をしっかりと相手に伝えられるようになりたいです。これから慣れないことの連続で大変なことが多いと思いますが、頑張っていきたいと思います。1年間よろしくお願いします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、菅沼堅太委員、お願いします。

○菅沼堅太委員

私は鳳来地区に住む高校3年生、17歳の菅沼堅太です。私は今期で3年目になります。

若者議会は、私の知らない新城を知ることができます。それが良い点かもしれないし、悪い点かもしれません。はたまた両方なのかもしれません。たとえ、悪い点を知っても、それは見方を変えれば良い点になるからです。そして、その知り得た良いところ、悪いところは、この若者議会やその他の場で活用していきたいと思っています。

そして、自身のスキルアップができるので参加しました。私は高校3年生なので、進路について考えていました。その際、条件を考えていたところ、なるべく新城市から出たくないと思いました。なぜそんな条件が出たのかわかりません。ですが、1つだけ言えることがあります。若者議会に入っていなければ、そんな条件は出ていなかったということです。なぜ、なるべく新城市から出たくないと思ったのかをこの1年間で探していこうと思っています。

過去の経験を生かして、精一杯頑張っていきます。1年間よろしくお願いします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、菅沼希望委員、お願いします。

○菅沼希望委員

私は鳳来地区に住む菅沼希望です。年齢は15歳です。

私が若者議会に参加した理由の1つ目は、市外の方に新城市の魅力を知ってもらう前に、新城市に住んでいる人に新城市の魅力を知ってもらいたいと思ったからです。なぜそう思ったかという、中学3年生の理科の授業のときに、先生から新城市の魅力を教えていただきましたが、その場所や内容について詳しく知っている人が誰もいませんでした。なので、新城市に住んでいる人に、自分が住んでいる場所にどのような魅力があるか知ってもらいたいからです。

2つ目は、若者議会ではどのようなことを行っているか知ってもらいたいからです。なぜかという、中学校の授業のときに、若者議会の話になったときに、何をやっているのか知らない、面倒くさそうだからやらないという意見がありました。そのため、中学生に若者議会がどのようなことを行っているかを知ってもらい必要があると思ったからです。

最後になりますが、1年間よろしくお願いします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、三浦千友莉委員、お願いします。

○三浦千友莉委員

私は八名地区に住んでいる三浦千友莉です。年齢は16歳です。

私が若者議会に参加した理由は、新城市民として自分の住んでいる市の魅力を広めたいと思ったからです。新城市は少子高齢化で人口が減少しつつあります。少しでも人口を増やしていくために、新城市にしかない魅力を広めて、市を活性化させていきたいです。活性化させていくための具体的な活動の例と

して、食の魅力を広めたいです。観光客向けに新城市のおすすめ食事スポットを紹介したり、新城産の野菜を使った料理を提案したいです。このようにして、まだ最大限に生かし切れていない部分を見つけながら、新しい魅力を伝えていきたいです。

また、普段の生活では関わることができない方々と交流し、違う考えや意見を吸収して、考えの幅を広げていきたいです。皆さんと協力しながら、新城をより良くしていきたいと思います。

これからよろしくお願いします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、瀬野和奏委員、お願いします。

○瀬野和奏委員

私は鳳来地区に住む瀬野和奏です。年齢は19歳です。

私は昨年度までメンターとして活動してきましたが、今年は、また若者議会委員の一員として、改めてこの場に立たせていただいています。

今年、私が特に取り組みたいと考えているのは、真の若者の声を届けるということです。若者は、実はもっとまちに対して意見や願いを持っていると思います。例えば、みんなで集まれるカフェが欲しい。学校帰りに気軽に立ち寄れる場所が欲しいなどです。そういった若者の本音をありのまま市政に届けていきたいと考えています。もちろんすべてが実現するのは難しいかもしれませんが、しかし、若者がこのまちに何を求めているのか、その思いをしっかりと声にして伝えることで、今以上に若者に寄り添うまちづくりが進んでいけばと願っています。

もう1つ取り組みたいことがあります。それは新城をもっと知ることです。今年、県外の友人と新城市内の観光地やお店を巡る機会がありました。自分では、新城のことをよく知っているつもりでいましたが、実際に回

てみると、まだまだ知らない場所や魅力、そして人々の温かさに改めて気づかされました。新城の魅力を伝えるには、まず自分自身がその魅力を深く知っていることが大切だと思います。これからも気になる場所には、積極的に足を運び、新城への理解を深めていきたいと思います。

大学で学んだことも生かしながら、1年間、地元のために少しでも力になれるよう努力していきます。

1年間よろしくお願いいたします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、長谷川結乃委員、お願いします。

○長谷川結乃委員

私は新城地区に住む長谷川結乃です。年齢は16歳です。

私が若者議会に参加した理由は2つあります。1つ目は、新城市の特産品を多くの人に知ってもらいたかったからです。新城市の魅力は農作物が盛んなことだと思います。この特徴を生かし、多くの人の目にとまるような活動がしたいです。私が取り組みたいと思っていることは、こども食堂で提供されている料理に特産品を使うことです。それだけでなく、特産品の説明が書いてあるものを入れ、子どもでも見やすくなるようにイラストなどを使って、食堂に来た人に知ってもらえるようなことをしたいです。私は学校で地域の食文化や調理について学んでいます。その知識を生かして頑張りたいと思っています。

2つ目は、若者議会を通して、自分の意見をしっかりと周りの人に伝えられるようになりたかったからです。若者議会は、同じ学生だけでなく、社会人の人など様々な年齢層の方がいます。その中で発言する力をつけ、自分に自信を持てるようになりたいです。

第11期メンバーとして1年間頑張ります。よろしくお願いします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、小山玄貴委員、お願いします。

○小山玄貴委員

私は千郷地区に住む小山玄貴です。年齢は17歳です。

私が若者議会に応募した理由は、私の大好きな四谷の千枚田の魅力を多くの人に知ってもらいたいと思ったからです。四谷の千枚田は、日本の原風景とも言える美しい棚田が広がる場所で、季節ごとに違った表情を見せる自然の美しさがあります。しかし、地元の人以外にはあまり知られておらず、そのすばらしさが十分に伝わっていないと感じます。こうした地域の魅力を若い世代の視点から発信していくことが今後の地域づくりにおいて重要だと私は考えています。若者議会という場を通じて、情報を発信し、多くの人に足を運んでもらうことで地域の活性化につなげていきたいと思っています。

また、その過程で地域の歴史や人との繋がりを深く学び、自分自身も成長していきたいと考えています。若者の視点や行動力を生かしながら、地域の未来に貢献できるよう、1つ1つの活動に責任を持って取り組んでいきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

それでは、若者議会委員に引き続き、若者議会市外委員、所信表明をお願いします。

それでは、浅井匠市外委員からお願いします。

○浅井匠市外委員

市外委員を務めさせていただきます、兵庫県西宮市在住の浅井匠と申します。

中学校までは新城市で過ごし、その後、名古屋、神奈川、東京、アメリカ、兵庫、大阪と、様々な地域で暮らして参りました。こうした経験を通じて、文化や価値観の多様性に触れ、自分の視野を広げることができまし

た。同時に、生まれ育ったまちに経験を持ち帰る責任についても改めて考えるようになりました。外から見た視点を地域づくりに生かし、未来へつなげるお手伝いできればと考えております。

私が掲げるテーマは、大きく2つございます。第1に、若者が自らの可能性を見出し、世界で活躍できる人材となるための環境づくりです。本市は、自然豊かで人情に溢れたすばらしい地域である一方、都心部とのアクセスや人材の流入といった点において、いくつか課題を抱えております。若者が世界を広く知り、挑戦するきっかけを得るには、外部との接点が必要不可欠です。私は、オンライン、オフラインを問わず、多様なバックグラウンドを持つ人々と若者が繋がる交流の場を整備し、夢や目標に向かって踏み出すきっかけを後押ししていきたいと考えております。

第2に、地域資源を最大限に生かす社会の構築です。これまで、地域資源というと、モノや自然資源の再活用といったところに焦点が当てられてきましたが、今後の鍵を握る地域資源は、豊かな経験を持つ高齢世代の方々なのではないかなと考えております。人生100年時代を迎える今、70歳を迎えた方々こそが第2の人生の中で知恵と技術を若者に伝え、地域社会を支える大きな原動力となる存在です。例えば、高齢者と若者がともに企画運営する地域イベントの開催や、課題を、世代を超えて解決する共創プロジェクトの推進など、具体的な取り組みを通じて、誰もが役割を持ち、誇りを持って暮らせる社会を目指して参ります。若者には、高齢世代の知恵と支えを、高齢世代には若者のエネルギーと柔軟な発想を。この両者の力を抱え合わせ、世代が一体となって築く未来都市、新城の実現というところを目指して参ります。

1年間よろしくお願いいたします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、野澤夢叶市外委員、お願いします。

○野澤夢叶市外委員

私は、大学4年生の21歳の野澤夢叶と申します。

小学校、中学校、高校と、18年間、愛知県新城市の東郷地区から、そして現在は、大学の兼ね合いで、愛知県一宮市に住んでいます。

今回、この若者議会に選出されたということを変に喜ばしく感じています。私は、現在、大学で地域活性化についての勉強をしています。学びを深めていく中で、生まれ育った新城市では、どのような現状にあるのかと強い興味を抱きました。そこで、若者視点で新城市の現状を知り、改善していくために若者議会を志望いたしました。

さらに、私自身、中学生の職場体験で、旧まちづくり推進課で活動させていただいたため、若者議会自体にも強い憧れというものがありました。

また、私は当時の中学生議会にも参加しておりまして、このような雰囲気にも大変懐かしいように感じています。中学2年生当時の私は、自分だけの物の見方でしか考えることができず、ただ漠然と公園を増やしてくださいなどと主張していたことを覚えています。それから、高校、大学と、知識や経験を積み、様々な視点から物を考えることができるようになりました。このような視点から、新城市の現状について考えてみますと、新城市の若者離れが課題であるのではないかとこのように感じています。若者議会に入り、市外委員だからこそ有している視点から、私のように、新城市から出ていった若者、将来出ていく可能性がある若者にフォーカスを当て、新城市に関わり続けていくことができる仕組みづくりを考えていきたいと思っています。

当時の私に成長してきたということを自信を持って言えるように、この1年間、新城

市のため尽力していきたいと考えております。

1年間よろしくお願いいたします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、戸塚琉愛市外委員、お願いします。

○戸塚琉愛市外委員

私は静岡県袋井市に住む戸塚琉愛です。年齢は20歳です。

私は新城市を訪れていくうちに、新城市はなぜこんなにいいまちなのに、知っている人が少ないのだろうと思いました。以前、私も知らない身でしたが、新城市を知ったことでとても好きになり、魅力をもっと広げたいと感じるようになりました。私は若者議会に参加し、新城市のPRをしたいと考えています。新城市をまず認知させ、新城市に関心を持つ関係人口を増やしたいと考えています。私は、静岡県という少し遠いところに住んでいます。外部から見た新城市の課題や、新城市に対するアイデアなどを共有して、実践したいと考えました。新城市は、奥三河の豊かな自然が広がり、新城市ならではの美しい景観を見ることができます。この良さを生かしてPRするべきだと思います。さらに、新城市は自然があり、居心地がいい街です。加えて、豊橋市と浜松の隣で、都市部のアクセスが良好です。そんな、新城市は人口減少が課題となっています。若者を増やすためにも、新城市のPRが必要だと考えました。

力になれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、片桐萌絵市外委員、お願いします。

○片桐萌絵市外委員

私は広島県東広島市に住む片桐萌絵です。年齢は20歳です。

進学を機に、大好きな新城市を離れて2年が経ちました。新城を離れたからこそわかる新城にしかない魅力、そして新城の潜在能

力を自分自身の言葉で表現し続ける1年にしたいと思っています。新城を離れた若者が、やっぱり新城っていいよなあと思える場所にしたい。そして、帰りたいと思ったときに、いつでも迎え入れてくれる場所、帰る居場所があるまちにしたいと思っています。私にとって唯一のふるさと、新城を大切にしていきたいという気持ちを忘れずに今年度も頑張っていきます。

よろしくお願いいたします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

次に、夏目響市外委員、お願いします。

○夏目響市外委員

私は、京都府京田辺市に住む夏目響です。年齢は20歳です。出身は鳳来地区ですが、現在は大学のため、新城を離れて生活しています。

私は先日、新城市の成人式に参加し、同級生や家族、地域の人々と関わる中で、新城の人の温かさを感じました。大学に進学して市外で暮らすようになり、市外の若者と話す中で、新城市は自然や歴史の豊かさに加えて、この人の温かさが何よりの魅力ではないかと私は気づきました。そんな魅力がある大好きな新城の将来に貢献したいと考え、この度、若者議会に参加しました。

私の考える理想のまちは、市民同士の繋がりがあふれるまちです。友人や知人、家族、地域の人、市外の人との繋がりを大切にすることが、まちが持続的に発展するためには必要であると考えます。若者議会への参加を通して、繋がりをさらに創生することを目指していきます。

そして、若者の中には、私も含めて、進学や就職のために、やむを得ず新城を離れる人がいます。このような人たちも、新城をふるさととして認識し、ふるさとの繋がりに帰りたい、参加するために帰りたいと思えるまちにしていきたいと思っています。

初めての参加ではありますが、生まれ育ったまち新城に市外の視点から貢献していきたいと考えています。

よろしくお願いいたします。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

この25人で答申に向けて第11期若者議会一丸となって活動していきたいと思います。

6. 市議会議長あいさつ

○古瀬有菜議長

それでは最後に、大変お忙しい中、ご出席をいただきました新城市議会議長長田共永様からごあいさつを賜りたいと思います。長田市議会議長、お願いします。

○長田共永市議会議長

本日、この議場で25名の若者が踏み出した1歩は、このまちのまちづくりにとって、決して小さくないと確信しています。

そして、ようこそ、議場へ。

改めて、議長からお願いしたいことがあります。本日、皆様方が述べられた所信はすべて正しいです。その最初の所信のことを忘れずにいてください。そして、今、皆様方がそれぞれ読んだ自分の意思や思いやこのまちをどうしたいか。それを、自分の心に常に持っていていただき、そしてその所信をどこか家の目立つ場所に貼っておいてください。そして、このまちには、皆様方知っているとおり、若者条例ということがあります。若者条例、そして若者議会条例というものがあります。その条例2つを、ネットに上がっておりますので、2つの条例を必ず読んでください。それをまずお願いしたい。このまちをどのようなまちにしたいか、若者がどうやって活躍できるまちにしたいかという、これは大人の考えが載っています。そんな中で、君たちは今日所信で言われた、それぞれの思いを、どのように形にするかということを考えてください。

それを大切にしていいただければ、この若者議会は、今年も素晴らしい成果を出せると、議長は確信しております。

議論において、例えば25人いるとする。1対24になったとする意見が、仮にですよ、その1が間違っているとか、24が正しい、そんなことは決してありません。多数が正しい、そんなことがすべてに当てはまるわけではありません。君達それぞれ、今日の所信、しっかりした所信の思いがあれば、自分の意見を堂々と、みんなに理解されるように言うてほしいと思います。

いつの時代においても、このまちや、この国やこの星を変えるのは、20代、30代の若者というのは、有史以来、この人間という生物が生きて以来、決まっていることです。それだけ自信を持ってほしいと思います。今日から君たちは、我々大人、そして議会のライバルだと、まちづくりのライバルだと思っています。

若者議会は、君たち一人一人が成長する場でも、勉強する場でも、それは構いません。ただし、1つだけ言えるのは、結果を出すわけです。結果を出さなければ、若者議会はなりません。若者議会で25人の委員とともに、最終的にきちんとこのまちにとって素晴らしい答申を出す、それを望んでいます。

改めて、今後、君達と議論をできるのを楽しみにしながら、議長からの挨拶としたいと思います。

改めて、頑張ってください。

○古瀬有菜議長

ありがとうございました。

本日は大変お忙しい中、下江市長様、長田市議会議長様、お越しいただき、まことにありがとうございました。

また、若者議会のスタートに際しまして、議場を快くお貸しいただいた長田市議会議長様を始め、市議会議員の皆様、ありがとうございました。

私自身、議長ということで不安な点もたくさんありますが、皆さんと一緒に、新城市がより良くなっていけるよう、精一杯頑張っていきたいと思っております。皆様、今後とも御指導の程、よろしくお願いします。

これをもちまして、令和7年度第1回新城市若者議会を閉会させていただきます。

閉 会 午後8時00分